

○1 学期末、新生徒会長が生徒会選挙の公約に掲げた、「制服、校則の見直し」について自分が関わってみたいと思う生徒を募集したところ、1年生から3年生までで13名の生徒が手を挙げた。その中から生徒会長が意見の取りまとめなどを行う、推進委員6名を委嘱した。経過は以下のようになっている。

○事前に、13名のプロジェクト委員は、googleclassroom<校則の見直し>に入り、新生徒会長から発信される制服や校則について、自分の意見をchromebookを通して送信するようにした。

- 1 7月27日……生徒会長から以下のような2つの設問を送信し13名の委員に意見を求めた。
なお、そのなかで、8月2日13時より学校において、意見の集約とまとめを推進員で行うように生徒会長からお願いした。

設問 1 「夢講座で理解できた性の多様性を考えた制服はどうあったら良いと考えますか？理由も付けて意見を述べてください。」

設問 1 「学校を適切な学びの場にするために、あるいは生徒一人一人が生きづらさを感じることなく過ごしやすい環境にするために制服はどうあったら良いと考えますか？理由も付けて意見を述べてください。」

☆意見の集約結果については、後半の資料で説明する。

- 2 8月2日……佐久間中学校、個別学習室Bにおいて、推進委員(当日出席5名(1名体験入学のため遅刻))で意見の集約とまとめ、方向性を検討した。
- 3 8月3日……校則についての見直しの資料として、佐久間中学校の校則を新生徒会長がchromebookでプロジェクト委員に送信した。
- 4 8月20日……設問2と校則の見直しについての意見集約を、この日の13時から個別学習室Bで6名の推進委員が集まって実施する予定。

<資料1:7月27日の制服の見直しの意見集約>

1 設問 1 について

- ・ズボンやスカート、リボンやネクタイどっちを着ても良いようにしたり、私服でも良いようにしたりしたらいいと思います。そうすれば、男性だけどスカートを履きたい人、リボンをつけたい人、女性だけどズボンを履きたい人、ネクタイをつけたい人、そして制服自体を着たくない人なども生きづらさを感じる事が少なくなると思います。
- ・自分でたくさんの種類の制服から選べるようにしたら良い。なぜならそのほうが、「スカートが嫌」「ズボンが嫌」がなくなると思うから。
- ・意思の尊重ができるけど校則に反しない固定概念や偏見無い、選択性の制服がいいと考える。
- ・自由制。意見はいろいろだから
- ・制服のズボンやスカートなどを選択式にする。理由 男子だからズボン、女子だからスカートという指定や決め付けをなくすことができるから。
- ・制服を男子はズボン、女子はスカートと決めつけず、その人が着たい方を着るようにすれば不満がたまらず良いと思う。
- ・生徒全員が賛成してくれる制服 たくさんの意見を取り入れたほうが良くなると思うから

2 設問 2

- ・どの生徒も自分の着たい服を選べるようにもっと自由になったら良いと思います。そうすれば今までの制服が嫌だった人も服装を気にせず授業を受けることができたり、今までより過ごしやすくなったりして制服が嫌だから学校に行きたくないという思いの人が少なくなると思います。
- ・みんな同じにするのではなく、個性を尊重した制服にしたほうが良いと思う。なぜなら、色々な考えや感情があるということ学びながら、生徒が周りの目を気にせず生きていけると思ったから。
- ・上記と同様です。
- ・上と同じ
- ・自分の個性に合うもの。理由 自分の個性に合うものなら一人一人が生きづらさを感じることなく学校生活をおくれると思うから。
- ・制服は自分で自由に選択できるようにして、自由に選択した制服を否定したりしない。
- ・選択性にする 性別と逆の制服を選ぶときに言いたしづらと思うから

3 意見の集約

最初に設問1を集約するために、設問 1 の解答で設問2についての回答を以下に分類し整理した。

制服のズボンやスカートなどを選択式にする。理由 男子だからズボン、女子だからスカートという指定や決め付けをなくすことができるから。
制服を男子はズボン、女子はスカートと決めつけず、その人が着たい方を着るようにすれば不満がたまらず良いと思う。
ズボンやスカート、どっちを着ても良いようにしたらいいと思います。そうすれば、男性だけどスカートを履きたい人、女性だけどズボンを履きたい人なども生きづらさを感じる事が少なくなると思います。
自分でたくさんの種類の制服から選べるようにしたら良い。なぜならそのほうが、「スカートが嫌」「ズボンが嫌」がなくなると思うから。

以上の意見集約から(設問 1 の中に集約されなかった意見は設問2の方に入れてまとめていくことにした。)委員の意見を発表していった。

4 意見集約の方法

個別学習室Bに委員が集まり、それぞれが chromebook を開きながら、「校則の見直し」classroom に書かれている意見を「jamboard」に作成し、KJ法で意見をまとめていった。委員の chromebook を大型テレビにつなげて、大型テレビでも見られるようにして、jamboard に示された意見に対する感想や意見を出していった。写真参照

5 意見集約の中で出された委員からの意見

(1)設問1

・制服については、その存在をなくし、私服にすることについて、委員からは慎重にした方がいいとの意見(全員)だった。理由は、とんでもない私服に対して学び場として適切でなくなる恐れがあること、なんでも、自由にすると、逆に、自由でいることで、1 からすべて選択していくことの大変さや、服のチョイスで、人からいろいろと言われる心配が付きまとい、かえって生きづらくないのではという意見だった。

・また、制服を全て変えて、今風のものにすることについては、家庭の負担が大きくなるだけであるので、それは、適切ではないとのことだった。それよりも、今ある制服の選択肢を増やすことで今、生きづらさを感じている人の気持ちの軽減を図りたいという意見だった。

・設問 1 について、性の多様性について生きづらさを感じている人に対して、スカート、スラックスを選択制にして、どちらを選んでよいという方向に進めたいということになった。

・なお、スラックスについては、業者に複数のスラックスを用意してもらい、試着などしながら、スラックスについて、2 つくらい選択ができるようになるという結論になった。

(2)設問2

・設問2については、主に、制服については、ネクタイやリボンを付け加えるかどうかというあたりと、制服をやめてしまって、私服とするかについてである。ただ、上記で記したように、委員からの私服に対する意見は否定的なものであった。

・ただ、制服の登校ではなく、体操服で登校はとか、靴下とか靴とかを含めて、あるいは、黒以外のセーター、ストッキング、リボンやネクタイといった、人とワンポイントが違うような装いができると学校という抑圧感が軽減するといった意見もあった。

・意見の中では、上記でも示したが、靴下や靴なども、自由では、学習環境という面においてひっかかる点があり、また、すべて選択することは逆に悩むことになるため、複数の選択肢の中から選ぶ形が一番今はいいと考える。例えば、靴下であれば、今は白だけだが、黒、灰色、紺など、靴も、白だけでなく、黒、灰色、紺などはどうかという意見があった。

・設問2の中で、自由(私服)についてもあったので、教師側から、月 1 回自由の日でもどうか？その日は、当然、制服で来てもいいし、体操服でもいいし、私服でも当然いい。そのために、自分たちいい環境にするために、ルールを作っていくのはどう？という話も提案してみたが、生徒は私服について、自由な服ということについては、関心を示していなかった。

・次回、8 月2日発出した、校則の意見集約と、この設問2について、意見を取りまとめていくことになった。

<写真:8月2日>

